

2026年度若手CrossLab [わかてクロスラボ] へのお誘い

～更なる研究仲間・研究テーマ発掘の場～
～企業の方々とのコラボレーション促進も～

初版

開催趣旨

2026年度のアライアンス分科会も、「若手CrossLab (わかてクロスラボ)」3回を企画しました。今年は、東京科学大 化生研、大阪大 産研、および東北大 多元研での開催となります。

・共同研究テーマ、仲間が見つかった場合は、2027年初めに公募予定のアライアンス公募研究への応募^{注)}の他、競争的外部資金の獲得も目指していただきたく、この機会をご活用ください。

・本分科会は若手に主眼を置いていますが、ベテラン研究者も是非プレゼン資料を作成し、人材交流を増やすと共にコラボレーションの可能性を探してください！

・今年度も、**産学連携の共同研究促進のため**、企業の産学連携・オープンイノベーション関連部署の方々からの参加も募集するほか、昨年に引き続き**AIを活用したテーブルディスカッションや、テーマ設定ブレスト**も企画しています。

アライアンス事業に関する情報は ↓

<https://alliance.tagen.tohoku.ac.jp/>

注) 第4期アライアンスが認可された場合。現在未定。



人と知と物質で未来を創る

クロスオーバーアライアンス

北海道大学・東北大学・東京科学大学・大阪大学・九州大学の共同研究ネットワーク



より広範囲な研究者交流

新たなイベントを企画運営

所属研究者の能力向上

若手CrossLab：開催日程等

対象者：5研所属の研究者および技術職員、
企業の研究者・マネジャー等

- * いずれも1日目の集合時刻：12:30／2日目の解散時刻：13:00～13:30頃の予定
- * 2日目の午後に、工場・施設見学を実施予定（希望者のみ）
- * 現地宿泊については、各自で手配してください
- * 途中参加／途中離脱については、個別にご相談ください

グループ	日 程	開催場所
G1 + GC	7/29(水)～30(木) 1泊2日	東京科学大 化生研 (横浜市)
G3 + GC	10/13(火)～14(水) 1泊2日	大阪大 産研 (茨木市)
G2 + GC	11/11(水)～12(木) 1泊2日	東北大 多元研 (仙台市)

問い合わせ・申込

参加費は無料

* 企業参加者は申し訳ありませんが 旅費は自己負担をお願いします。

参加に際しに必要なもの

- ① 指定PPTフォーマットの研究プレゼン資料 (A4の2枚)
- ② 新たな研究仲間を見つけたい情熱
- ③ 異分野研究者との交流を増やしたい情熱
- ④ 研究論文を書きたい、外部資金を取りたい思い

下記申込フォームよりお申し込みください（旅費支弁対象締切は8月31日まで。

但し、予算消化状況によっては締切を早める場合があります。）

旅費支弁なしの申し込みは各回開催日の2週間前まで受付けます。

* 旅費支給は原則一人1回1往復です。

* 複数回の参加を希望する方は、その回数分申し込んでください

■ Google Form <https://forms.gle/UEVqcfMLJZ1Yy1hp6>

■ 問い合わせ先 東北大多元研アライアンス本部 tagen.alliance@grp.tohoku.ac.jp



2026年度アライアンス分科会開催概要

G1:エレクトロニクス
無機/有機/融合/デバイス/計測

G2:環境エネルギー
環境エネルギー材料/新材料/計測

G3:生命機能
生体材料/バイオ/有機/創薬/計測

GC:情報数理AI
計算科学/モデリング/AI/融合

分野は分けていますが、異分野融合研究促進のため、他グループへの参加もご検討ください。

ワークショッププログラム（例）

1日目

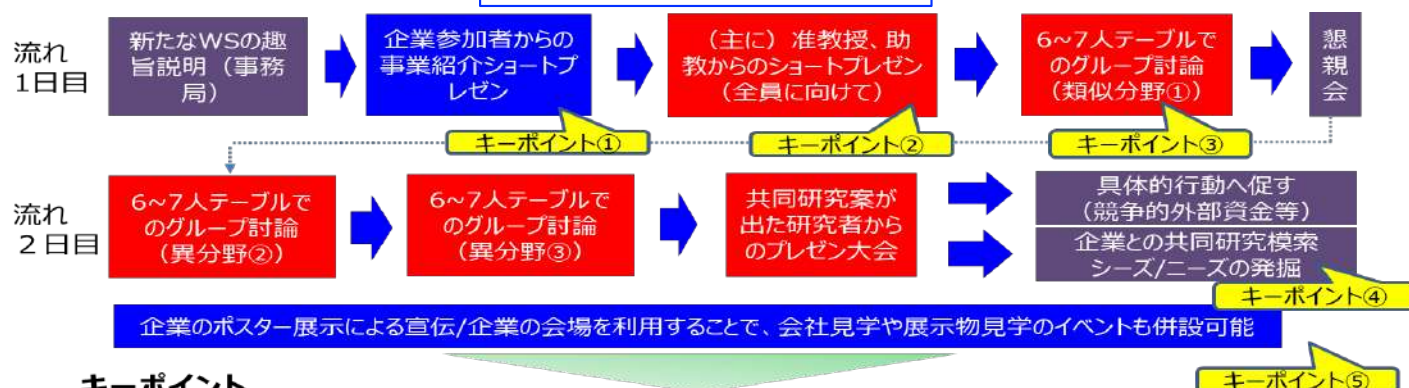
12:30～13:00：趣旨説明・活動報告
13:00～16:30：参加者ショートプレゼンテーション
16:30～18:10：テーブル討論（類似分野チーム）
18:30～20:30：懇親会（会費制）

2日目

09:00～10:40：テーブル討論（異分野チーム）
10:50～12:20：テーブル討論（投票によるチーム）
12:30～13:00：共同研究案プレゼン大会
13:00～：解散（終了後引き続き議論可）
（その後は自主的に打ち合わせを進めてください！）

- ・各研技術室からの紹介ポスターも歓迎します。
- ・技術室/企業からのポスター・製品展示も歓迎します。
- ・企業ショートプレゼン資料は指定パワポで作成下さい。

2026年度分科会の流れ



キーポイント

- ① 大学研究者に向けて企業のシーズを紹介/求めている産学連携の内容を紹介。
- ② 参加者への技術シーズ/ニーズを自己紹介
- ③ 各テーブルに製造系企業から1名づつ参加、コラボレーション可能性を探る。オブザーバ参加者は全体見学。
- ④ 共同研究のアイデアに企業も参加、もしくは興味ある研究者とピンポイント接触。
- ⑤ 大学研究者にも企業の活動を知ってもらう機会、産学連携を身近なものに感じてもらう。

開催地案内



若手Crosslab（G1+GC）
7/29(水)～30(木)

**東京科学大 すずかけ台図書館
多目的ルーム**（横浜市）東急 田園都市線 すずかけ台駅 徒歩7分



若手Crosslab（G3+GC）
10/13(火)～14(水)

大阪大 産研講堂（茨木市）大阪モノレール 阪大病院前駅 徒歩15分



若手Crosslab（G2+GC）
11/11(水)～12(木)

東北大 エスパス（仙台市）JR 仙台駅西口より徒歩15分